

うない通信

国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 ニュースレター Vol.12 2017年10月発行

国際学会派遣費用助成事業

本推進室では、女性研究者のキャリアアップを推進することを目的に、国際学会等に参加するために必要な旅費を全額又は一部助成する「国際学会派遣費用助成事業」を行っており、今年度第1期は2名が採択されました。

英文校閲費用助成事業

本推進室では、女性研究者のキャリアアップを推進することを目的に、学術雑誌への投稿論文や学会発表の英文校閲に係る費用を助成する「英文校閲費用助成事業」を行っており、今年度第1期は2名が採択されました。

育児サポート・サービス 利用料補助事業

職員の仕事と家庭生活の両立を支援するため、育児支援におけるサポート・サービスを利用する場合の利用料の一部を補助する「育児サポート・サービス利用料補助事業」を実施しており、今年度は13名(内、女性研究者6名、男性研究者2名、職員5名)が採択されました。



病児・病後児保育 利用料補助制度

職員の就業および家庭生活の両立を支援することを目的に、病児・病後児保育を利用する場合の利用料の一部補助を行う「病児・病後児保育利用料補助制度」を実施しており、今年度は21名(内、女性研究者6名、男性研究者1名、職員14名)が採択されました。



研究活動等支援員制度

平成29年度第1期は、教育研究支援に5名、研究支援に18名、計23名の研究者が本制度を利用し、36名の支援員が配置されました。また、第2期には、教育研究支援に5名、研究支援に17名、計22名の研究者が採択され、11月より支援員を配置する予定です。



平成29年度 ダイバーシティ推進セミナー

平成29年8月4日(金)、8月7日(月)に、エイミー・スエヨシ先生(サンフランシスコ州立大学エスニック・スタディーズ学部副学部長)とティナ・タケモト先生(カリフォルニア美術大学准教授)を講師にお招きし、平成29年度第1回および第2回ダイバーシティ推進セミナーを開催しました。

本セミナーは、本学の教職員の方々に、大学における男女共同参画や女性研究者支援、女性の活躍を積極的に行うことについて理解を深めていくことを目的に開催しているもので、講演に先立ち、花城梨枝子琉球大学理事・副学長より開会の挨拶があり、本学がおこなっている取り組みや課題等について述べられました。

第1回ダイバーシティ推進セミナーでは、エイミー・スエヨシ先生が「ダイバーシティは死活問題～人材多様化の意義と課題」をテーマに、ジェンダーギャップに関する日本とアメリカの比較、アメリカでの雇用状況や大学におけるダイバーシティの課題等について、ご家族のお話なども交えながら講演されました。

また、第2回ダイバーシティ推進セミナーは、ティナ・タケモト先生から「クイアなキャンパスの魅力～性の多様性と大学」と題して、ご自身の経験やキャリアパスにも触れつつ、クイアとは何か、LGBTQなど性の多様性に配慮した大学としての支援や取り組み、今後の課題等についてお話がありました。

質疑応答では、教職員や学生から寄せられた熱心な質問に対して、講師の先生方から事例を交えた丁寧な回答がなされ、大変有意義なセミナーとなりました。



平成28年度 ダイバーシティ推進セミナー

平成29年3月6日(月)におこなわれた第1回ダイバーシティ推進セミナーでは、講師に国立大学法人岩手大学理事・副学長の菅原悦子先生をお招きし、岩手大学の男女共同参画の概要、女性研究者支援(拠点型)の成果、地域創生に向けた取り組みについてお話していただきました。学内に開設する事業所内保育所について、地元の銀行と連携協定を結び設置するという新たなモデルケースが示され、また、理系のコースを理工学部にも再編された経緯等についてお話がありました。

同年3月30日(木)の第2回ダイバーシティ推進セミナーは、講師にハワイ大学からジョイス・チネン先生(沖縄研究センター長)とテレサ・ビル先生(女性研究センター特任教員)の2名をお招きし、開催しました。

はじめに、ジョイス・チネン先生から「大学におけるダイバーシティの創生～ハワイ大学沖縄研究センターのあゆみ～」をテーマに、ご自身のキャリアパスやご家族の話をお話しながら、1960年代から今日に至るアメリカやハワイのダイバーシティへの意識啓発が行われてきた時代背景などについてご講演いただきました。また、ハワイ大学沖縄研究センターのミッションと同大学の学術的ダイバーシティ推進に果たした役割、今後の展望などについてもお話がありました。

続いて、テレサ・ビル先生からは「ハワイ大学における子育て支援とダイバーシティ推進」と題して、ハワイ大学全体で実現を目指している「Family Friendly Campus(家族にやさしいキャンパス)」の取り組みや、学生への経済的自立をサポートし学位取得を支援するハワイ大学の支援プログラムなどについて説明していただきました。



今後の予定

- 第2期国際学会派遣費用助成事業 募集: 11月(予定) 対象期間: 10月1日(日)～3月31日(土)
- 第2期英文校閲費用助成事業 募集: 11月(予定) 対象期間: 10月1日(日)～2月28日(水)
- スキルアップセミナー 開催: 11月(予定)
- 介護セミナー/相談会 開催: 12月(予定)
- リーダーシップ研修 開催: 12月(予定)
- 中間報告シンポジウム(仮) 開催: 1月(予定)

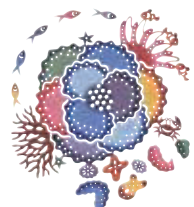
※募集期間については各部局への通知のほか、本推進室HPにも随時掲載します。



ご あ い さ つ

10月よりジェンダー協働推進室に着任致しました親川裕子と申します。「うない研究者支援センター」が設置された当初から琉大における男女共同参画に関する取り組みに関心を持っておりましたので、今回、携われることを嬉しく思います。

年度後半の多忙な中、諸事業に取り組むスタッフの皆さんの、少しでもお役に立てるよう努めてまいりますので、よろしくご指導くださいますようお願い致します。



国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階 TEL:098-895-8675
E-mail:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/

平成29年度 スキルアップセミナーを開催しました

平成29年8月8日(火)・9日(水)の2日間、琉球大学研究者交流施設・50周年記念館において、スキルアップセミナー「英語でゆんたく～女性研究者のための英語ディスカッションフォーラム～」を開催しました。

講師には、アメリカのサンフランシスコで障がい者の雇用やリーダーシップにおける幅広い分野で活躍されているリア・シゲムラ先生をお招きし、1日目は「真のプロフェッショナルをめざして」、2日目は「多様な才能を活かせる職場とは」というテーマで、アメリカの事例などについてお話していただきました。その後は参加者も交えてディスカッションがおこなわれ、女性研究者自身の意識改革の必要性やEqualityとEquityの違いなど、様々な視点から活発な議論が交わされました。



平成29年度 競争的資金獲得セミナーを開催しました



平成29年8月10日(木)に琉球大学研究者交流施設・50周年記念館において「平成29年度競争的資金獲得セミナー『これなら獲れる!～押さえておくべき科研費採択のポイント』」を開催しました。

講師に『科研費採択に向けた効果的なアプローチ』の著者である北川慶子先生(聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科 教授)をお招きし、午前中は本学の教員・研究者を対象に科研費応募の重要なポイントを解説していただきました。また、午後からは本学の女性研究者を対象に個別指導がおこなわれました。

平成28年度 女性教員短期研究専念制度報告会を開催しました

「平成28年度女性教員短期研究専念制度(試行)報告会」が平成29年7月14日(金)に、琉球大学附属図書館ラーニング・commonsでおこなわれました。

「女性教員短期研究専念制度」は、本学に在職する女性教員の学術研究を推進し、教育・研究の発展に貢献できる人材を育成することを目的としています。当該教員がおこなう教育又は大学運営等の職務を一定期間免除し、その代替・支援措置を講じた上で、本学以外の教育研究機関等において一定期間研究又は学術調査に専念できる制度として、平成28年度に試行として実施しました。

報告会では、実際に制度を利用された、観光産業科学部の松本晶子先生と理学部の栗原晴子先生に、制度利用期間中の研究活動やその成果、今後の計画等について発表していただきました。

「平成28年度 女性教員短期研究専念制度報告会」

日時:平成29年7月14日(金) 10:00～11:45

演題:「80日間世界2/3周ー研究者と交流を広げることによるメリット」
松本 晶子先生(観光産業科学部観光科学科 教授)
「研究専念制度を利用して～フィールド研究の魅力の再発見～」
栗原 晴子先生(理学部海洋自然学科 助教)



琉球大学キャリアデザインフォーラム2017を開催しました

平成29年6月12日(月)～7月10日(月)、本学50周年記念館および共通教育棟において、「琉球大学キャリアデザインフォーラム2017～『仕事』とは?『やりがい』とは?地域社会で活躍する女性たちから学ぼう～」を開催しました。

今回は沖縄県内で活躍する5名の女性リーダーを講師にお招きし期間中、全5回にわたって講演がおこなわれました。講演では、改めて「仕事とは何か」、「何のためにその仕事をするのか」などの問題をテーマに、プロとしての意識、倫理観、責任感、そして個人のキャリアとチームワークの関係、多様な人々のいる職場でのコミュニケーションのあり方などについてお話していただきました。



	講師名	テーマ
第1回	(有)インターリンク沖縄 専務取締役 豊川 明佳氏	「夢へのチャレンジ～3つのチャ・チャ・チャ～」
第2回	(株)りゅうせきビジネスサービス 代表取締役社長 名嘉村 裕子氏	「企業成長のためのダイバーシティ～りゅうせきネットワークの取り組み～」
第3回	(株)ゆがふホールディングス 代表取締役専務 前田 貴子氏	「中小企業よもやま話」
第4回	金武町議会議員 仲村 広美氏	「〈唯一の女性町議会議員〉としての仕事」
第5回	沖縄科学技術大学院大学(OIST) 施設管理ディビジョンディビジョンアドミニストレーターおよびエグゼクティブアシスタント 水越 晶子氏	「転職でキャリアの構築」



平成28年3月～平成29年8月の主な活動報告



サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ Vol.5

琉球大学と沖縄科学技術大学院大学(OIST)の共催で、次世代を担う理系進学に関心のある県内の女子高校生を対象に、科学に対する興味を深め、将来の進路選択の一助となるよう、研究者による講演、フィールド調査と、女子学生も交えた交流会を開催しました。

「サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ Vol.5」

日時:平成29年3月27日(月)～28日(火)

会場:石垣島天文台、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター、VERA電波望遠鏡ほか

講師:嘉数 悠子博士(国立天文台ハワイ観測所)
高林 美咲博士(ハワイ大学 ヒロ校)



Gender Summit 10 – Satellite Conference in Okinawa



東京で開催されたGender Summit 10(平成29年5月25日(木)～26日(金))に続いて、5月29日(月)、30日(火)には会場を沖縄科学技術大学院大学(OIST)に移して「Gender Summit Satellite Conference in Okinawa ～Frontiers of Science in Asia-Pacific～」が開催されました。

国内外から招聘された講師による講演やパネルディスカッションの他、若手研究者・大学院生によるポスター発表がおこなわれ、本学からも医学部保健学科の具志堅美智子助教がポスター発表をおこないました。



「慰霊の日」託児室開設

平成29年6月23日(金)「慰霊の日」に合わせて、琉球大学学生会館において託児ルームを開設しました。19名の教職員が利用し、26名の子どもたちを受け入れました。おやつ作りや工作をするなどして仲良く過ごしました。



平成29年度 琉球大学オープンキャンパス

オープンキャンパスにおいて「理系女子のための自然科学分野紹介」を開催しました。工学部情報工学科の國田樹助教が講演を行い、参加した23名の高校生に、研究の紹介と共に自然科学を学ぶことの魅力をご自身の経験と交えながら伝えました。

「理系女子のための自然科学分野紹介」

日時:平成29年7月15日(土)

会場:琉球大学 工学部 2号館 313教室

講師:國田 樹助教(工学部)

演題:「単細胞生物は賢く生きている!」

